

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公表番号】特表 2005-526157(P2005-526157A)

【公表日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-034

【出願番号】特願 2004-506384(P2004-506384)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/63 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/63 F

C 0 8 F 290/06

C 0 8 G 18/63 F

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 26 日 (2006.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

(1) 少なくとも 1 種のエチレン系不飽和モノマーを、重合開始剤及びマクロマーの存在下、かつ、存在するポリマーの全量と比べてヒール中に存在するポリマー量に対し、0.5 ~ 50 重量%のポリマーポリオールヒールの存在下に、ベースポリマー中で重合することにより、種を製造する工程、

(2) 工程(1)で得られた種に更にエチレン系不飽和モノマー及び任意に更にポリオールを添加する工程、及び

(3) 工程(2)で得られた混合物を重合する工程、
を含むポリマーポリオールの回分式又は半回分式製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

したがって、本発明は、ポリマーポリオールの回分式又は半回分式製造方法に関し、この方法は、(1) 少なくとも 1 種のエチレン系不飽和モノマーを重合開始剤及びマクロマーの存在下、かつ、存在するポリマーの全量と比べてヒール(h e e l)中に存在するポリマー量に対し、0.5 ~ 50 重量%のポリマーポリオールヒールの存在下に、ベースポリマー中で重合することにより、種を製造する工程、

(2) 工程(1)で得られた種に更にエチレン系不飽和モノマー及び任意に更にポリオールを添加する工程、及び

(3) 工程(2)で得られた混合物を重合する工程、
を含む。

半回分式方法でヒールを使用することは、E P - A - 6 9 8 6 2 8 に記載され、また連

続式方法で種を使用することは、E P - A - 7 6 8 3 2 4 に記載されるが、回分式方法又は半回分式方法で、種及びヒールの両方を使用することにより、更に改良されたポリマーポリオールが得られることは知られていなかった。

【発明を実施するための最良の形態】